

事務事業名		男女共同参画行動計画進捗管理事業		<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業		<input type="checkbox"/> 総合戦略登載事業				
政策体系	政策名	相互に理解し、尊重し合う地域社会の実現		事業期間		予算科目				
	施策名	人権の尊重と男女共同参画社会の構築				会計	款	項	目	事業
	基本事業名	男女共同参画意識の醸成				01	02	01	11	08
根拠法令				<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 14 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 ↓ 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入		事務事業区分				
所属	部課名	企画政策部企画調整課				A 政策事業 B 施設整備				
	課長名	新沼 徹				C 施設管理 D 補助金等				
	係名	男女共同参画係	電話			0192-27-3111		E 一般(1～4以外)		
	担当者	佐々木 由紀子	内線	214						
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)						
・男女共同参画型社会の形成に資するため、大船渡市男女共同参画行動計画(計画期間:5年間)の策定、同計画書概要版の作成・配布及び同計画の進捗管理を行う。 ・平成29年度において、第4次大船渡市男女共同参画行動計画を策定する。				総投入量 (千円)	事業費	財源内訳	国庫支出金			
							都道府県支出金			
							地方債			
							その他			
							一般財源			
							事業費計(A)	0		
					人件費	正規職員従事人数				
						延べ業務時間				
						人件費計(B)	0			
						トータルコスト(A)+(B)	0			

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		(5) 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
① 手段(主な活動)		名称	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		単位	
第3次大船渡市男女共同参画行動計画の110事業について、取組状況を取りまとめた。		ア	大船渡市男女共同参画行動計画書配布部数
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		イ	
第3次大船渡市男女共同参画行動計画の進捗管理、第4次大船渡市男女共同参画行動計画策定及び同計画書の作成、配布		ウ	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		(6) 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
庁内男女共同参画関係課		名称	
		単位	
		カ	庁内男女共同参画関係課数
		キ	
		ク	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		(7) 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
男女共同参画の推進に資する事務事業を実施する。		名称	
		単位	
		サ	男女共同参画関係事務事業数
		シ	
		ス	
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)			
男女共同参画社会の形成に貢献する。			

(2) 総事業費・指標等の推移		年度	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(目標)	30年度(目標)	31年度(目標)	32年度(目標)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円			324			
	事業費計(A)		千円	0	0	324	0	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1				
		延べ業務時間	時間	240	240				
		人件費計(B)	千円	960	960	0	0	0	
		トータルコスト(A)+(B)		千円	960	960	324	0	0
⑤ 活動指標		ア	部			15,000			
		イ							
		ウ							
⑥ 対象指標		カ	課	40	40	40	40	40	
		キ							
		ク							
⑦ 成果指標		サ	事業	110	110	110	110	110	
		シ							
		ス							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

- ① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
 平成7年度に、女性施策の総合的な企画・調整を図る窓口として「女性政策推進室」を設置したのがきっかけである。
- ② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？
 平成11年に男女共同参画社会基本法が、同14年には大船渡市男女共同参画推進条例が制定された。平成7年の市民意識調査で、男女が平等になっていない要因について、「社会通念、慣習、しきたり」をあげた人が最も多かったが、この傾向は、平成14年、18年、24年の同調査においても変わらなかった。平成24年度の市民意識調査の結果では、社会全体でみた男女の地位の平等感は、「男性の方が優遇されている」と答えた人の割合が71.7%にのぼり国の結果とほぼ同じだったが、一方で「平等」と感じる割合は、国より約10ポイント下回った。人口減少と少子高齢化が進行し、また、早期復興を目指す中、行政と市民との協働はますます重要となっており、男性・女性を問わず、まちづくりに参画できる環境づくりが必要となっている。特に、地域コミュニティの再生、子育て支援の拡充が喫緊の課題といえる。
- ③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律(女性活躍推進法)の施行により、関連する取組の推進が求められており、「女性地方公務員の活躍の促進等」「公共調達や各種補助事業を通じた女性の活躍の促進」「企業における女性の活躍促進」といった、これまでのような単に男女共同参画の推進ではなく、具体的な方策ついて、踏み込んだ内容となっている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】	大船渡市男女共同参画推進条例第9条に、男女共同参画の推進に関する行動計画を策定しその施策を総合かつ計画的に推進すると定められており、政策体系と結びついている。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】	前述のとおり、市条例において男女共同参画の推進に関する行動計画を策定し推進すべしとされており、市が行うことは妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】	男女共同参画推進のためには、行動計画に掲げる各種事業に取り組むことが重要であることから、それら各種事業の担当課を対象として事務事業を実施することは適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】	男女共同参画意識の高揚を図ることで、今後、各課等において、計画に登載した事業のほかに、男女共同参画に関連した事業を実施する可能性がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】	男女共同参画の進捗を管理する事業は、当事業以外にない。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】	現行計画は、平成24年度に策定したものであり、次期計画を策定するまでは、各課の男女共同参画関連事業の進捗を管理するのみであり、事業費の削減余地はない。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】	年1回、各課に男女共同参画行動計画登載事業の進捗を照会し、その回答をとりまとめることが主であり、削減余地はない。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っている不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】	当市全体の男女共同参画を推進しようとするものであり、一部の受益者に偏っているということはない。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

<p>(1) 改革改善の方向性</p> <p>1 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) → 3 終了・廃止・休止</p> <p>(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 計画策定後の社会情勢や法制度の変更、計画の進捗状況、国・県の動向等を見据えながら、必要に応じて事業内容の見直しを行う必要がある。</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。(終了・廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	向上		●		維持			×	低下		×	×
	コスト																				
	削減	維持	増加																		
向上		●																			
維持			×																		
低下		×	×																		

4 課長等意見

<p>(1) 今後の方向性</p> <p>1 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) → 3 終了・廃止・休止</p>	<p>(2) 全体総括・今後の改革改善の内容</p> <p>本事業自体は、着実に執行されているが、女性を取り巻く環境は刻々と変化していることから、計画の円滑な進捗管理はもとより、計画登載事業の追加、見直し等、計画推進に寄与する適時適切な対応が必須である。</p>
--	---